がん種　大腸がん

レジメン名　SIRB 療法

番号	薬剤名	投与量	投与方法	投与時間	備考	投与日								
						1	2	3	…	14	15	…	…	21
1	生理食塩液	500mL	点滴静注		ルートキープ用	○								
2	アロキシ点滴静注バッグ	1袋	点滴静注側管	30分		○								
	デキサ-ト注射液1.65mg	6管												
3	アバスチン	7.5 mg/kg	点滴静注側管	初回90分 2回目60分 3回目以降30分		○								
	生理食塩液	100m L												
4	カンプト点滴静注	150 mg/㎡	点滴静注側管	90分		○								
	5%ブドウ糖液	250 mL												
5	エスワンタイホウ配合OD錠	※その他に記載	内服		day1夕～day15朝	○	○	○	○	○	○			
6	デカドロン錠4mg	2錠分１	内服	朝食後	day2,3		○	○						

1コース期間
（次のコースまでの標準期間）　21 日

総コース数　制限なし

休薬規定及び減量規定、中止基準

●カンプトの減量・中止基準

WBC 3000/mm^3 未満	投与中止または 回復が確認されるまで延期
Plt 10万/mm^3 未満	
排便回数増加	
下痢(水様便)	
腹痛	

●腎機能障害がある時のエスワンタイホウの減量基準

60≦Ccr＜80	必要に応じて1段階減量
40≦Ccr＜60	原則として1段階以上の減量
30≦Ccr＜40	2段階減量が望ましい
Ccr＜30	投与不可

●減量早見表

減量レベル	カンプト	エスワンタイホウ（mg/回）		
初回投与量	150mg/m^2	60	50	40
1段階減量	120mg/m^2	50	40	(25)
2段階減量	90mg/m^2	40	(25)	

●次クールを開始する際の注意

・Grade3の白血球減少(2,000/mm^{3}未満)、好中球減少(1,000/mm^{3}未満)、または下痢（水様便）が認められた場合は、副作用の回復を確認後、投与量を減量する。

・Grade4の白血球減少(1,000/mm^{3}未満)、好中球減少(500/mm^{3}未満)、または下痢（出血、脱水、電解質異常を伴う）が認められた場合は、投与を中止する。

その他

・治療前にＵＧＴ１Ａ１を検査。多型があればカンプト減量。

※　S-1初回基準投与量
BSA<1.25㎡：80mg/日（分2）
1.25㎡≦BSA<1.5㎡：100mg/日（分2）
1.5㎡≦BSA：120mg/日（分2）